

行政常任委員会

令和4年12月14日（水）

午前10時08分開 会

○濱中副委員長 おはようございます。

少し、時間、早いですが、皆様おそろいですので始めさせていただきます。

ただいまより、行政常任委員会を開会いたします。

本日は、村田幸隆委員長、病気のため欠席となっておりますので、副委員長のほうで委員長の職務を行わせていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、本日の議題に入ります。

まず、財政課における、議案第76号、令和4年度尾鷲市一般会計補正予算（第11号）の議決について、説明願いたいと思います。

○岩本財政課長 それでは、議案第76号、令和4年度尾鷲市一般会計補正予算（第11号）の議決についてのうち、財政課に係る予算について御説明申し上げます。

まず、補正予算書の1ページを御覧ください。

今回の補正につきましては、第1条第1項にありますとおり、補正前の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億6,244万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ117億7,542万9,000円とするものでございます。

続きまして、10ページ、11ページを御覧ください。

歳入でございます。

このうち、18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金1,244万3,000円の増額は、今回の補正財源として繰り入れるものでございます。

続きまして、12、13ページを御覧ください。

歳出でございます。

2款総務費、1項総務管理費のうち、3目財産管理費8,400万円の増額は、ふるさと応援寄附金の増加見込額1億5,000万円のうち、経費への充当分を除く8,400万円をふるさと応援基金へ積み立てるものでございます。

ここで、財政課委員会資料の1ページを御覧ください。

今回の11号補正を踏まえた基金残高でございます。

財政調整基金につきましては、1,244万3,000円を取り崩すことにより、

補正後の残高は16億8,219万2,000円、また、ふるさと応援基金は、8,400万円を積み立てることにより、補正後の残高は4億2,992万4,000円、これにより、基金合計は27億4,488万4,000円となる見込みでございます。

財政課からの説明は以上でございますが、引き続き各所管から説明させていただきます。

○竹平総務課長　それでは、総務課に係る部分について説明をさせていただきます。

5ページをお願いいたします。

第2表の債務負担行為補正の変更1件でございます。

これは、三重県議会議員選挙区の変更などにより事務費が増額したことから、限度額を162万6,000円から179万8,000円に変更するものでございます。

内容といたしましては、これまで、尾鷲市・北牟婁郡選挙区、定数2、熊野市・南牟婁郡選挙区、定数2でございましたが、東紀州の選挙区として定数が3ということになり、三重県選挙管理委員会から11月30日に掲示板の枠の数の変更が通知されました。そのことにより、ポスターの掲示板について、6枠から8枠に変更するものでございます。また、交付機及び計数機の点検手数料が1機当たり500円増額となっておりますので、それを合わせて17万2,000円の増額をさせていただきますというものでございます。

説明は以上でございます。

○三鬼政策調整課長　政策調整課です。

それでは、議案第76号、令和4年度尾鷲市一般会計補正予算（第11号）の議決についてのうち、政策調整課分について御説明を申し上げます。

補正予算書の10ページを御覧ください。通知させていただきました。

歳入について御説明いたします。

17款寄附金、1項寄附金、1目総務費寄附金1億5,000万円の増額は、ふるさと応援寄附金について、令和4年度の寄附金見込額を5億円と想定して増額するものでございます。

次に、12ページを御覧ください。通知します。

歳出について説明いたします。

（発言する者あり）

○三鬼政策調整課長　失礼いたしました。

12ページを御覧ください。歳出について説明いたします。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、7,844万3,000円を増額するもので、財源は、その他特定財源6,600万円、一般財源1,244万3,000円でございます。歳出の内訳は、ふるさと納税事業として、10節需用費44万6,000円は、寄附申請者に対する寄附証明書、お礼状及びワンストップ申請書等の発行に関する消耗品費でございます。

次に、11節役務費1,192万7,000円は、寄附申請者に対する寄附証明書、お礼状及びワンストップ申請書の発送に関する通信運搬費が285万2,000円、ふるさと納税指定代理納付手数料が907万5,000円でございます。

次に、12節委託料6,600万円は、返礼品を含めたふるさと納税関連業務委託料でございます。

次に、13節使用料及び賃借料7万円は、複合機の使用料でございます。

続きまして、委員会資料に基づき、令和4年度ふるさと納税の状況を政策調整課参事より御説明いたします。

○西村政策調整課参事 委員会資料1ページを御覧ください。通知いたしました。

ここでは、(1)、令和4年度ふるさと納税寄附金の申請件数について、月別状況を示しています。11月30日まで、申請件数は1万9,463件で、前年同時期に比べ3,527件上回り、122%と増加しております。

次のページを御覧ください。

ここでは、(2)、令和4年度ふるさと納税寄附金の申請金額について、月別状況を示しています。11月30日までの申請金額は2億5,830万2,000円で、前年同時期に比べ3,578万4,000円上回り、116%と増加しております。

次のページを御覧ください。

ここでは、(3)、令和4年度ふるさと納税返礼品件数の上位10位までを示しています。生食用サーモン切り落としが9,704件で最も多く、続いて生食用ブリ切り落とし、紀州南高梅まるやか梅干し、訳あり天然本マグロ中トロと続いています。

次のページを御覧ください。

ここでは、令和4年度ふるさと納税寄附金額及び寄附者の都道府県別の上位5位までを示しています。寄附金額では、1万円が1万3,863件で最も多く、5,000円、2万円と続いています。都道府県別では、東京が4,560件で最も多く、神奈川県、愛知県と続いています。

次のページを御覧ください。

ここでは、令和4年度ふるさと納税事業の活動状況についてでございます。

4月から様々な取組を行い、6月には、本市のふるさと納税ポータルサイトの充実を図るため、ふるなびポータルサイトを開始し、ふるさとチョイス、楽天、ふるなびの三つのポータルサイトでの寄附金受付を開始し、寄附者の選択肢を増やすことで寄附金の拡大を図りました。また、同月、ふるさと納税No.1比較サイトふるさと納税ガイドにて、本市の取組や返礼品の紹介をしていただきました。

続いて、7月には、トラストバンク、ふるさとチョイスが行うチョイスAWARDへのエントリー、10月には南三重ふれあいフェスタにてふるさと納税支援による寄附の使い道を紹介し、11月には、東京三重テラスにて東紀州特産品祭りin三重テラスに参加し、本市の自然や観光等の魅力発信や、ふるさと納税による寄附の活用事例紹介など、様々な取組を行っております。

また、この場をお借りして、尾鷲市ふるさと納税事業に賛同していただいている約80の出品事業者様にお礼申し上げます。担当としましても、さらに尾鷲市の返礼品や事業の取組を、寄附者様に共感と継続的な支援を得るため、尽力してまいります。

現在、新たなチャレンジの場として出品を検討している事業者様がございましたら、年明け2月から随時、新規返礼品受付を開始いたしますので、御協力のほど、よろしく願いいたします。

○三鬼政策調整課長 以上で、令和4年度尾鷲市一般会計補正予算（第11号）の説明とさせていただきます。よろしく御審議いただき、御承認賜りますようお願いいたします。

○濱中副委員長 説明は以上のおりであります。

ただいまの説明に対して御質疑のある方は挙手をお願いいたします。

○南委員 ふるさと納税が平成20年にスタートして15年目ということで、当初、尾鷲市のふるさと納税は50万程度からスタートしたのが、5億といたら何倍になるわけですか。それは別として、たしか私の記憶では、市長が市長に就任されて初めての全員協議会で、市長の目指す尾鷲市の政策課題、何に力を入れますかって聞いたとき、ふるさと納税のアップということで、僕、たまたま議長をさせてもらったということで、3億円を目指しておるんやって市長が口頭で言われたことがあるんですわ。僕、当時3億というのはちょっと、とてつもない難しいハードルじゃないかなということで、数字を上げんと、1億、まず目標に挙げていただいたらどうですかということは、加藤市長に就任当時お話しさせていただいた記憶があ

るんですけれども、それが何と5億の大台へ乗って、約半分ぐらいが行政の公費として活用できることは当然なんですけれども、やはり返礼品の上においても、尾鷲市の事業所の方が、5億ということは約2億円余りの返礼品で、経済効果があるということで、まさにふるさと納税のアップは一石三鳥ですね。

そういったことで、担当の努力は当然なんですけれども、やはりトップとしての市長の強い方向性の気持ちがこういった数字で表れてくるなということで、ますます僕は、6億、7億を目指して頑張りたいという気持ちなんですけれども、返礼品のベスト10位のほうを聞いたら、やはり魚町尾鷲ということで、魚が上位を占めておるということで、やはりこれからも商品開発は頑張りたいという気持ちなんですけれども、特にサーモンなんか全国的にもすごい人気があるということなんですけれども、今、世界情勢が、こういったノルウェーから来るサーモンに至っても何か高騰がかなりされているということなんですけれども、そういったことで、これからもふるさと納税は地域経済に寄与するのと、尾鷲市の財政にもプラスになるということで、どんどんネットなんかを通してPR活動に励んでいただきたいと強く思いますし、もしよければ市長の、再度意気込みを聞かせていただきたいと、ふるさと納税に関する、思います。

○加藤市長　一つの方針を出して、要するに、私たちはこの場を借りて、スタッフが本当にそれに一心でやっていただいていると、その意気込み、そのやり方云々については本当に、非常に称賛しているんですけれども、と同時に、それを協力していただいている事業者の方々、あくまでもやはりこれは商品開発がまず第一ですし、それでもって、あと、御寄附いただいた方々へのフォロー体制、要するにサービスですね、これを徹底していくことというような、いろんな条件はあるんですけれども、それをきちんとやっている。

今回、一応5億ということを目指しながら順調に進んでおります。12月についても、一昨年の実績がほぼ、今のところオーバーしているようでございますし、5億の数字も、要するに期待できるということで、今回計上させていただいたんですけれども、やはりふるさと納税というのは、我々の財政の、本当に財源として非常に重要な話でございますので、積極的にこの事業については進めていきたいと思っております。ありがとうございます。

○南委員　最後に、ぜひとも、市長はじめ担当のほうも、これからも一生懸命頑張りたいと、エールを送りたいと思います。

それと、1点、逆に尾鷲市から他市町へふるさと納税を寄附したというのはどん

なんですか、流れとしたら。伸びてきているのか、それとも下がっているのかという点で、それだけ、参考までに。

○三鬼政策調整課長 税務課において、これは集計は行っているんですが、全国的に、ふるさと納税、今年全国が過去最高ということもありますので、伸びていることは想定されるんですけど、本市からどれだけふるさと納税が出ているか、税務課の資料も基に、また御報告させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○濱中副委員長 また改めて、税務課のほうからいただくことにします。

他にございますか。よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○濱中副委員長 それでは、これで常任委員会の審査を終了いたします……。すみません。再開いたします。

執行部退室をお願いいたします。

それでは、付託議案の採決に移ります。

議案第76号、令和4年度尾鷲市一般会計補正予算(第11号)の議決について、可決すべきとする者の挙手をお願いいたします。

(挙手全員)

○濱中副委員長 挙手全員で可決するべきものと決しました。

以上で常任委員会を閉じます。ありがとうございました。

(午前10時25分 閉会)